

服飾芸術科の3つのポリシー

服飾芸術科	教育目的			ファッション・ビューティ業界に関わる専門的な知識や技能を講義と演習の科目を通して幅広く修得し、豊かな感性を養うことで表現力を身につけ、社会において貢献できる人材を育成することを教育目的とする。			
		学習成果	対応する PROG 項目	教育目標	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	アドミッションポリシー
	A	他者と協力して共に創り上げる力	コンピテンシー 対人基礎力	社会人としてふさわしいマナーや心配りで他者と接するとともに、多様な意見を受け入れながら、専門分野における自らの考えを論理的に伝え、多様な人々と協働しながら成果を生み出すことができます。多様な人々と積極的にコミュニケーションをとることで信頼関係を築きチームに貢献することができます。	社会人としてふさわしいマナーや心配りで他者と接するとともに、多様な意見を受け入れながら、専門分野における自らの考えを論理的に伝え、多様な人々と協働しながら成果を生み出すことができます。多様な人々と積極的にコミュニケーションをとることで信頼関係を築きチームに貢献することができます。	専門科目の授業や産官学連携プログラム等で様々な社会的課題に関わる機会を設け、グループワーク、共同作業を通して、効果的に他者に働きかけながら成果を出す科目を編成します。	トレンドや世の中の流行に敏感で、高校時代に生徒会活動、クラブ活動、学校行事やボランティア活動などの経験があり、社会に貢献しようとする姿勢とコミュニケーション力がある人
	B	自己肯定感をもって最後までやり遂げる力	コンピテンシー 対自己基礎力	自らの感性の強みとその活かし方を認識し、困難な課題にも主体的かつ前向きに挑戦し、責任を持って最後までやり遂げることができます。	自らの感性の強みとその活かし方を認識し、困難な課題にも主体的かつ前向きに挑戦し、責任を持って最後までやり遂げることができます。	主体性と好奇心を持ち、専門分野での感性を深め、最後まで課題に取り組むことで、段階的に成長と達成感を実感できる科目を編成します。	規則正しい生活習慣を備え、課題に誠実に好奇心を持って取り組むことができ、努力を惜しまず、自らを信じて挑戦を続けられる人
	C	目標と計画を立てて課題を解決する力	コンピテンシー 対課題基礎力	社会や業界が直面している課題を自ら発見し、その解決に向けて現実的な目標と合理的な計画を立て、実践と検証・改善を繰り返すことができます。	社会や業界が直面している課題を自ら発見し、その解決に向けて現実的な目標と合理的な計画を立て、実践と検証・改善を繰り返すことができます。	各自の専門分野に関心を持ち、課題解決のために合理的な計画を立て、主体的に取り組む科目を編成します。	本学のカリキュラムや学びに強く興味・関心があり、将来の夢や目標を持ち、それに向けて自ら計画的に学ぶ意欲のある人
	D	ファッションの知識を活かして考える力	リテラシー問題 解決力	提示された社会や業界の課題に対して、専門知識をもとに情報を収集し、課題の本質をとらえながら新たな発想を生み出し、解決策を示すことができます。	提示された社会や業界の課題に対して、専門知識をもとに情報を収集し、課題の本質をとらえながら新たな発想を生み出し、解決策を示すことができます。	服飾・美容・芸能等に関する知識を土台に、自ら課題を分析し、課題解決策や行動計画を提案する力を養う科目を編成します。	興味のある分野について、学んだ知識や情報を論理的に説明でき、柔軟に応用することで新しい価値を創り出す意欲のある人
	E	学んで理解する力		学ぶことを楽しみ、将来の職業選択につながる専門的な知識と技能を理解・修得することができます。	学ぶことを楽しみ、将来の職業選択につながる専門的な知識と技能を理解・修得することができます。	職業人、社会人として活躍するために必要な基礎力と専門性をバランスよく取得する科目を編成します。	高等学校の教育課程を幅広く修得し、基礎的な学力を身につけており、何ごとにも好奇心を持って学ぼうとする意欲のある人